

過酷な条件下での撮影にも適した P2 システム ロケ地ごとの「見せ場」をキレイに再現

ドキュメンタリー番組 (NHK BS hi ほか) 「世界一周!地球に触れるエコ大紀行」

カメラマン：鈴木克彦氏

05

2008年4月からNHK BS hiで放送中の番組「世界一周!地球に触れるエコ大紀行」の撮影にはメモリーカード・カメラレコーダー“P2 cam”「AJ-HPX3000G」をはじめとしたP2システムが活用されている。

同番組は、2人の旅人が1年間かけて世界30ヶ所のエコツアーに参加しながら、地球を体験しようという壮大で新しいスタイルの環境エンターテインメント番組。制作上の大きなポイントは、1回のロケで撮影した素材を有効活用していること。

制作を担当しているNHKエンタープライズおよびドキュメンタリージャパンでは、同番組に向けてP2HDシステムによる新たなワークフローを構築。旅人とともにエコツアーに参加し、撮影を行ったP2カードをスタッフが日本に持ち帰り、毎週土曜日の生放送中継に使用するサブ出しVTRと、翌週の「日めくり版」の編集をP2ダイレクトで行っている。

また、ハイビジョン特集等における総集編についてはオフライン編集をFinal Cut Proで行い、DVCPRO HDのテープにHDクオリティで書き出した上で、オンライン編集を行っている。

カメラマンを務めた鈴木克彦氏（フリー）

○今回のロケでは、北半球班、南半球班それぞれにAJ-HPX3000Gのほか、P2 drive、P2 mobileを活用し、32GBタイプのP2カードを30枚を使用しています。P2カードはこれを4セット用意し、2セットはそれぞれのロケ地、1セットは日本での編集に、そして残りの1セットはスタンバイさせています。スタッフがロケ先から持ち帰ったP2カードは、編集が終わり次第、次のロケ先に持っていく。その入れ替わりが続いていくわけです。また、ロケ班は素材をダビングしたハードディスクも準備しており、緊急事態に備えています。

○AJ-HPX3000Gを選んだ理由は、AVC-Intraコーデックを標準搭載していること。DVCPROの「1カセツ



「世界一周!地球に触れるエコ大紀行」より

ト1時間」というペースに慣れていますが、動物や自然環境の撮影などが多いですから、32GBのP2カードで約1時間のHD収録が可能なAVC-Intra50を選択しています。

○今回の撮影では、特に色の再現性が素晴らしいと感じました。狙いとして、場所ごとの「見せ場」をキレイに出したかったのですが、これは大きかったですね。例えば…タスマニアでは水まで褐色になってしまうようなタンニンを含むボタンガラスという植物の「赤」を見せたかったのですが、天気が悪い中でも思い通りに再現できました。一方、ピーカンのオーストラリア西海岸では青い空や緑の草原を美しく再現できたと思っています。

○AJ-HPX3000GはP2スロットを5基搭載しているので、5枚のP2カードを入れておけば1日の撮影には十分な容量を確保できます。また、カードを切り替えた時の映像のつながりも見事です。悪天候や寒い中、テープチェンジを行うのは非常に大変ですから。それに、P2システムには駆動部がなく、テープのように接触面もないこともあり、こうした過酷な条件下での撮影にはすごく適しているのではないかと感じました。今回のロケでも、氷点下の中国や、日中50℃を超えホコリや砂が舞い飛ぶアフリカの砂漠などにおいても機械的なトラブルは出ていません。

○個人的には、P2システムの方向性は素晴らしいと思います。DVCPROからDVCPRO HD、VARICAM、P2、P2HDへというマイグレーションは、方式自体は違いますが戸惑いはありません。実際に使ってみて、その良さを実感しているところです。

